令和4年度　施策・基本事業マネジメントシート （令和3年度実績に基づく評価）

作成日　令和　4　年　7　月　25　日

政策体系				施策主管課長	
	基本目標名	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		環境政策課
	政　策　名	2	地球環境に配慮したまちづくり		櫻井　学
	施　策　名	2	地球環境の保全		
施策関係課	農山村振興課、道路河川課、学校教育課、生涯学習課				

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誾、何を対象としているか	対象指標	単位	R1	R2	R3
	①地球環境（温室効果ガス） ②自然環境（森林、緑地、河川、水辺、動植物の生態系） ③市民 ④事業者	① 市域面積	㎢	356.04	356.04	356.04
		② 森林面積	ha	21,802	21,802	21,802
		③ 市人口	人	118,450	117,706	116,982
		④ 事業所数（経済センサス調査数）	事業所	6,236	6,236	6,236

施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標（意図の達成度を表す指標）	区分	単位	H30	R1	R2	R3
	①温室効果ガスの排出を削減する。 ①②地球環境、自然環境を保全し、次世代に引き継ぐ。 ③市民の自然環境を大切にする心を育てる。 ④自然環境に配慮した事業活動を行う。	① 市内からのCO2排出量	目標	千t-CO2	1,584	1,551	1,520	1,489
			実績		1,689	1,681	1,630	1,727
		② 適切に整備された森林面積(主伐、間伐の計)	目標	ha	675	675	675	675
			実績		150	195	287	343
		③ 環境に配慮した生活をしている市民の割合	目標	%	41.0	41.5	42.0	42.5
			実績		33.6	31.7	32.4	35.8
		④ 自然観察会又は自然保護活動に参加した市民の割合	目標	%	16.0	16.1	16.2	16.3
			実績		8.3	5.6	5.6	5.9
		⑤ 大気、水に係る事業活動に伴う公害苦情件数	目標	件	15	15	14	14
			実績		16	15	5	15

成果指標設定の考え方	成果指標の取得方法	
①市内のCO2 の排出状況を把握することにより地球温暖化に対する現状が把握できるため、指標とした。 ②CO2 削減に貢献する森林の吸収活動の状況を把握するため、指標とした。 ③環境を保全するための具体的な行動状況を把握するため、指標とした。 ④自然環境保護の大切さを学び、又は自然環境保護の具体的行動の状況を把握するため、指標とした。 ⑤大気、水の自然環境に影響を及ぼす事業活動に伴う公害苦情の状況を把握し、これを指標とした。	①	環境政策課資料
	②	農山村振興課資料
	③	市政に関するアンケート調査
	④	市政に関するアンケート調査
	⑤	環境政策課資料

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図		成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
地球温暖化の防止	①市民 ②事業者 ③地球環境(温室効果ガス)	・地球温暖化についての理解が十分になされている。 ・地球温暖化防止のための具体的行動がとられている。 ・温室効果ガスの排出を削減する。	①	COOL CHOICEを理解している市民の割合	目標	%	50.0	54.0	57.0	60.0
					実績		－	26.4	22.6	19.8
			②	地球温暖化防止のための行動をしている市民の割合	目標	%	45.0	49.0	52.0	55.0
					実績		33.6	31.7	32.4	35.8
			③	市内からのCO2排出量	目標	千t-CO2	1,584	1,551	1,520	1,489
					実績		1,689	1,681	1,630	1,727
自然環境の保全と再生	①自然環境 ②森林	・豊かな自然環境が保全、再生されている。 ・森林が適切に整備されている。	①	里山林整備面積(単年度)	目標	ha	10.0	10.0	10.0	10.0
					実績		0.0	3.1	3.4	16.2
			②	間伐実施面積(単年度)	目標	ha	609.0	609.0	609.0	609.0
					実績		112.3	124.4	164.1	233.8
			③	主伐実施面積(単年度)	目標	ha	66.0	66.0	66.0	66.0
					実績		37.2	70.5	123.0	108.8
			④	市内の自然環境が良好に保たれていると思っている市民の割合	目標	%	67.0	67.1	67.2	67.3
					実績		69.3	63.8	62.8	66.4

基本事業名	対象	意図		成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
環境学習の推進と自然保護活動の充実	①市民	・自然環境を大切にする心が育成されている。	①	自然観察会参加者数	目標	人	200	205	210	215
					実績		137	125	0	40
			②	市民環境リポーター数	目標	人	40	41	42	38
					実績		14	13	13	13
			③	田中正造記念賞応募団体数	目標	団体	7	7	8	8
					実績		8	5	0	0
			①		目標					
					実績					
			②		目標					
					実績					
			③		目標					
					実績					
			③		目標					
					実績					

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和3年度施策の取組方針	施策の取組方針・成果指標達成状況		
	・広報さの、市ホームページ、講座、展示等を通して、「COOL CHOICE ３０ SANO」の普及啓発を図り、「COOL CHOICE」に賛同する市民や事業所等を増やす。 ・広報さの等により「里山林整備事業」の周知及び活用を広く市民に呼び掛けるとともに、興味を示す団体等に対しては、積極的に制度の説明等の支援を行い、新規取組団体の掘り起こしを図る。 ・森林の適切な経営・管理を図るため、「森林経営管理制度」による意向調査や経営管理集積計画の作成を推進する。 ・子どもが興味をもち、夏休み等の参加しやすい自然観察会を企画・実施するほか、広報さの、市ホームページに加えて、自然観察会や環境月間の啓発等をとおして、生き物調査に協力してもらう市民環境リポーターの募集を行う。また、自然環境保護の啓発、環境保護活動の推進を図る。	取組方針	☐ 全て達成 ☑ 一部未達成 ☐ 全て未達成	【施策の取組方針達成状況】 ・環境省の補助を活用し、業務委託により講座やイベント等で「COOL CHOICE」の啓発を行った。 ・里山林の整備については、新たに1団体が取組を開始した。 ・森林経営管理制度による森林所有者への意向調査や経営管理権集積計画策定のための現地調査を実施した。 ・森林観察会、生き物観察会等を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部しか開催できなかった。 【成果指標達成状況】 ・市内からのCO2 排出量、環境に配慮した生活をしている市民の割合、自然観察会又は自然保護活動に参加した市民の割合及び大気、水に係る事業活動に伴う公害苦情件数は、目標未達成となった。
		成果指標	☐ 全て達成 ☐ 一部未達成 ☑ 全て未達成	

基本事業	基本事業名	令和3年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況		
	地球温暖化の防止	・市民の地球温暖化問題への理解を深めるため、広報さの、市ホームページ、講座、展示等を通して「COOL CHOICE 30 SANO」の普及啓発を図り、「COOL CHOICE」に賛同する市民や事業所等を増やす。	取組方針	☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・補助を活用し業務委託により、啓発動画や冊子を作成し「COOL CHOICE」の啓発を行った。 ・事業所への啓発は、コロナ禍のため実施できなかった。 【成果指標達成状況】 ・COOL CHOICEを理解している市民の割合、地球温暖化防止のための行動をしている市民の割合で目標を下回った。 ・市内からのCO2排出量は目標に達しなかった。
			成果指標	☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☑ 全て未達成	
	自然環境の保全と再生	・荒廃した里山林の整備を推進するため、広報さの等により「里山林整備事業」の周知を及び活用を広く市民に呼び掛けるとともに、興味を示す団体等に対しては、積極的に制度の説明等の支援を行い、とちぎ環境・みどり推進機構とも連携し、新規取組団体の掘り起こしを図る。	取組方針	☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・「さの広報」において新規整備箇所の募集を行うとともに、活動に興味を示す団体には、リーフレットを用いた制度の説明を行ったことで、1団体からの応募があった。 【成果指標達成状況】 ・里山林の整備個所としては、新たに１団体が取組を行い4.4hを実施した。また、過年度からの3団体は新規整備面積とし11.8haを実施し、合計16.2haを実施したことで目標を達成するこができた。 ・今までの長引く木材価格の低迷で人手不足により、健全な森林を育成する間伐などの施業が進みにくい状況となっており、目標を達成することができなかった。 ・ウッドショックによる木材価格の上昇も影響し、主伐においては目標を達成することができた。
			成果指標	☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成	

基本事業名	令和3年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況		
環境学習の推進と自然保護活動の充実	・子どもが興味をもち、夏休み期間に行うなど参加しやすい自然観察会を企画・実施する。 ・広報さの、市ホームページに加えて、自然観察会や環境月間の啓発等をとおして、生き物調査に協力してもらう市民環境リポーターの募集を行う。 ・自然環境保護の啓発、環境保護活動の推進を図る。	取組方針	☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☑ 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・森林観察会、生き物観察会等を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部しか開催できなかった。 ・小学生を対象とした生き物調査事業を実施できなかった。 ・田中正造記念賞の募集について、新型コロナウイルス感染症対策のため取りやめ、環境フェスタも中止となった。 【成果指標達成状況】 ・自然観察会参加者数、市民環境リポーター数、田中正造記念賞応募団体数とも目標に達しなかった。
		成果指標	☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☑ 全て未達成	
		取組方針	☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☐ 全て未達成	
		成果指標	☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☐ 全て未達成	

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
		市民	事業所	行政
	・平成28年5月、国において「地球温暖化対策計画」が策定され、2030年度に2013年度比▲26%の温室効果ガスを削減するとの目標が掲げられた。 ・国では、上記の目標を達成するため「COOL CHOICE」を旗印に、地球温暖化防止のための国民運動が展開されている。 ・森林の管理の低下により、地球温暖化防止機能、水源かん養機能、生物多様性保全機能等が低下している。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策に伴う外出自粛や休業要請等により、COOL CHOICEへの取組みを普及しづらい時期となっている。 ・国は令和2年10月に2050年カーボンニュートラルを表明し、令和3年4月に温室効果ガス排出量を2030年度で2013年度比46%削減とする新目標を発表した。	・地球温暖化防止のための具体的行動をする。 ・身近な自然の保護活動、ふれあい活動、環境学習に参加する。 ・良好な自然環境を次の世代に引き継ぐ。	・地球温暖化防止に向け、環境に配慮した事業活動や製品の開発に取り組む。 ・森林を適正に管理する。 ・間伐材等を活用した商品の開発と普及に努める。	・市役所自身が、地球温暖化防止に向け、環境に配慮した活動を行う。 ・自然環境保全、地球温暖化防止に関する啓発を行う。 ・里山林整備の支援を行う。 ・自然保護活動の支援と環境学習を推進する。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
【良好な生活環境と豊かな自然環境の保全】 ・森林観察会、生き物観察会等を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部しか開催できなかった。 ・田中正造記念賞の募集について、新型コロナウイルス感染症対策のため取りやめ、環境フェスタも中止となった。	【令和４年度で解決する課題】 特になし 【令和５年度以降にも引き継がれる課題】 ①市民の自然環境への関心の向上 ②里山林整備事業の新規整備団体の掘り起こし	①子どもが興味を持ち、夏休み等の参加しやすい自然観察会を企画・実施するほか、広報、ホームページに加え、自然観察会や環境月間の啓発等を行う。 ②今後も民家周辺の里山林を整備する団体が増えるよう、広報誌等による制度の周知や必要に応じた団体への説明を実施する
【再生可能エネルギーの活用と省エネルギー対策の推進】 ・地球温暖化防止のための国民運動である「COOL CHOICE」の普及啓発のため、環境省の補助を活用して啓発動画や冊子を作成し「COOL CHOICE」の啓発を行った。 ・施策全体の決算額は令和3年度は約1,040万円となり、令和2年度の1,180万円と比べ約140万円の減となった。主な要因は、地球温暖化対策事業費等の減によるものである。	【令和４年度で解決する課題】 特になし 【令和５年度重点課題】 ①「COOL CHOICE SANO」の市民への普及啓発	①広報さの、市ホームページ、講座、展示等をとおして「COOL CHOICE SANO」の普及啓発を図るとともに、賛同する市民や事業所等の増加を図る。